

様式1		令和7年度 清瀬市立清瀬第十小学校		学校評価計画	
学校の教育目標		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動			
・豊かに感じ、よく考える子ども ・友達の良さがわかり、助け合う子ども ・心身をきたえ、明るく生きていく子ども		○育成を目指す資質・能力は、「協働的問題解決型学習による情報活用能力」、「豊かな心・人間性」である。協働的問題解決型学習、通常学級と特別支援学級との交流及び共同学習、道徳授業の充実などの取組を通して、育成すべき資質や能力の実現を図る。協働的問題解決型学習については、問題発見（課題設定）、解決策（仮説）、情報収集（選択）、問題解決（まとめ）、表現の学習プロセスを通し、児童同士が学び合い、「学ぶ楽しさ」、「分かった・できた喜び」を実感できる教育活動を充実させる。また、タブレット端末を活用した協働的、個別最適化された学習、より高度な情報の収集、アプリによる児童同士の情報共有、プレゼンテーション等の作成を通して、基礎的な学力及び他者と共に考える力の更なる向上を図る。通常学級と特別支援学級との交流及び共同学習では、一人一人の個性を生かし、互いに認め合い、支え合い、高めあう態度を身に付けさせる。さらに、豊かな心・人間性を育むために、「養蚕体験を通した命の学習」や「松竹梅＋科学の力向上プロジェクト」に取り組んだり、「花のチカラプロジェクト」の取組を継続するなど五中との連携を推進しつらする。			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】・児童が「共に学び共に育つ」学校 ・保護者・地域に信頼される学校 【目指す児童・生徒像】互いに認め合い、支え合い、高め合う児童 【目指す教師像】児童に達成感を味わわせ、確かな学力・自尊感情を育ませることのできる教師					
前年度までの学校経営上の成果と課題					
【成果】「豊かな心の育成」の柱では、取組指標・成果指標それぞれ全ての項目が「4」となっており、学校関係者評価でも信頼と期待された御意見をいただいている。「健やかな体の育成」の柱では、短期経営目標の「児童が運動に親しむ態度を育む」で成果指標が「4」となり、児童自身に運動する楽しさを実感させることができた。 【課題】基礎的な知識・技能の定着、体力の向上が課題である。東京ベーシックドリルや全国学力学習状況調査過去問の実践、ICT機器の効果的な利活用による個別最適化された授業等を通して、基礎的な知識・技能を確実に定着させていく必要がある。また、体力テストの結果を活用した授業改善をすずめ、児童の体力向上を図っていく。					
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	基礎的な知識・技能の定着と情報活用能力の育成を図る。	協働的問題解決型学習を取り入れた授業を行い、情報活用能力を育成する。	総合的な学習の時間や生活科で、5つのプロセスを通した授業を行い、グループ活動を通して、情報活用能力を育成する。	4 全クラスで実施 3 16学級以上18学級未満で実施 2 14学級以上16学級未満で実施 1 14学級未満で実施	4 教員による評価で、指導目標達成の児童の割合が80%以上 3 教員による評価で、指導目標達成の児童の割合が70%以上 2 教員による評価で、指導目標達成の児童の割合が65%以上 1 教員による評価で、指導目標達成の児童の割合が65%未満
		基礎的な知識・技能の定着を図る。	漢字や計算をドリル・ドリルパーク・東京ベーシックドリルなどを活用して取り組むことで国語・算数の基礎を定着させる。(週1回、朝の時間など)	4 全クラスで実施 3 16学級以上18学級未満で実施 2 14学級以上16学級未満で実施 1 14学級未満で実施	4 各単元テストで到達率70%以上の児童の割合が80%以上 3 各単元テストで到達率70%以上の児童の割合が70%以上 2 各単元テストで到達率70%以上の児童の割合が60%以上 1 各単元テストで到達率70%以上の児童の割合が60%未満
豊かな心の育成	児童に自他の命を大切にすることの心情や思いやりの心を育む。	互いの良さを理解し、すすんで助け合う児童を育成する。	全学年で輪番制であいさつ運動に取り組む。地域の方や保護者にも挨拶ができるように、校門前で挨拶をする。	4 全クラスで実施 3 16学級以上18学級未満で実施 2 14学級以上16学級未満で実施 1 14学級未満で実施	4 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が80%以上 3 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が75%以上 2 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が70%以上 1 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が70%未満
		いじめの未然防止、早期発見、解決、再発防止を確実に行う。	・年3回、ふれあいアンケートを実施 ・3年生以上の学年でアセスを実施 ・いじめ防止対策委員会を定期的に実施 ・教員研修の実施	4 全クラスで実施 3 16学級以上18学級未満で実施 2 14学級以上16学級未満で実施 1 14学級未満で実施	4 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が85%以上 3 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が75%以上 2 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が65%以上 1 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が65%未満
健やかな体の育成	児童がすすんで運動に取り組む態度を育成し、体力の向上を図る。	児童が自己の運動能力に適した目標を設定し、目標に向かって体力の向上を図る。	体育の学習で、各種目の個人やチーム目標を設定させる。授業ごとにその目標に対する振り返りを行い、目標の達成状況を自己理解させる。	4 全クラスで実施 3 16学級以上18学級未満で実施 2 14学級以上16学級未満で実施 1 14学級未満で実施	4 体力テストにおいて都平均を上回った種目が4種目以上 3 体力テストにおいて都平均を上回った種目が3種目以上 2 体力テストにおいて都平均を上回った種目が2種目以上 1 体力テストにおいて都平均を上回った種目が1種目以上
		児童が運動に親しむ態度を育む。	体力テスト活用授業や、各学期に1回体力向上旬間を実施する。めあてカードや掲示物により、児童の記録と成長を可視化していくことで、目標に向かって運動する楽しさを実感できるようにする。	4 体力向上旬間に参加した教員が26人(養護を除く全員) 3 体力向上旬間に参加した教員が20人以上26人未満 2 体力向上旬間に参加した教員が15人以上20人未満 1 体力向上旬間に参加した教員が15人未満	4 アンケートによる児童の取組への肯定的評価が85%以上 3 アンケートによる児童の取組への肯定的評価が75%以上 2 アンケートによる児童の取組への肯定的評価が65%以上 1 アンケートによる児童の取組への肯定的評価が65%未満
特別支援教育の充実	個に応じた指導・支援を充実させるとともに、特別支援教育についての理解促進を図る。	教員や児童、保護者への特別支援学級に関する理解促進を図る。	児童のペースに合わせた交流を行い、児童が互いを認め合えるようにする。リーフレットやホームページ、ひまわり便りの配布により、ひまわり学級や交流及び共同学習学習の様子を保護者に周知し、さらに理解促進を図る。	4 全クラスで実施 3 16学級以上18学級未満で実施 2 14学級以上16学級未満で実施 1 14学級未満で実施	4 アンケートによる児童・保護者の肯定的評価が85%以上 3 アンケートによる児童・保護者の肯定的評価が75%以上 2 アンケートによる児童・保護者の肯定的評価が65%以上 1 アンケートによる児童・保護者の肯定的評価が65%未満
		特別支援教育委員会を中心に、教育的ニーズが必要な児童への指導・支援体制を充実する。	特別支援教育委員会を中心に、支援が必要な児童の様子を共有し、支援策の検討を行い、実施する。また、必要に応じて支援機関に繋げる。	4 支援策を検討するための校内委員会を月に1回以上実施 3 支援策を検討するための校内委員会を2か月に1回実施 2 支援策を検討するための校内委員会を学期に1回実施 1 支援策を検討するための校内委員会を実施しなかった。	4 アンケートによる保護者の肯定的評価が85%以上 3 アンケートによる保護者の肯定的評価が75%以上 2 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%以上 1 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%未満
本校の特色	外部人材を活用した教育を充実させ、社会に開かれた教育活動を推進する。	学校支援本部や地域住民、専門家の教育力を取り入れ、学んだことを社会の中で実践する力を育む。	外部人材を活用した授業を実施する。	4 外部人材を活用した授業を年間10回以上実施 3 外部人材を活用した授業を年間8回以上10回未満実施 2 外部人材を活用した授業を年間6回以上8回未満実施 1 外部人材を活用した授業の実施が年間6回未満	4 アンケートによる保護者の肯定的評価が85%以上 3 アンケートによる保護者の肯定的評価が75%以上 2 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%以上 1 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%未満
		学校の教育目標や教育活動についての情報を家庭・地域と共有し、連携して児童を育てる。	ホームページで各学年の教育活動に関する情報を発信する。	4 ホームページでの各学年の情報発信が年間20回以上 3 ホームページでの各学年の情報発信が年間16回以上20回未満 2 ホームページでの各学年の情報発信が年間12回以上16回未満 1 ホームページでの各学年の情報発信が年間12回未満	4 アンケートによる保護者の肯定的評価が85%以上 3 アンケートによる保護者の肯定的評価が75%以上 2 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%以上 1 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%未満